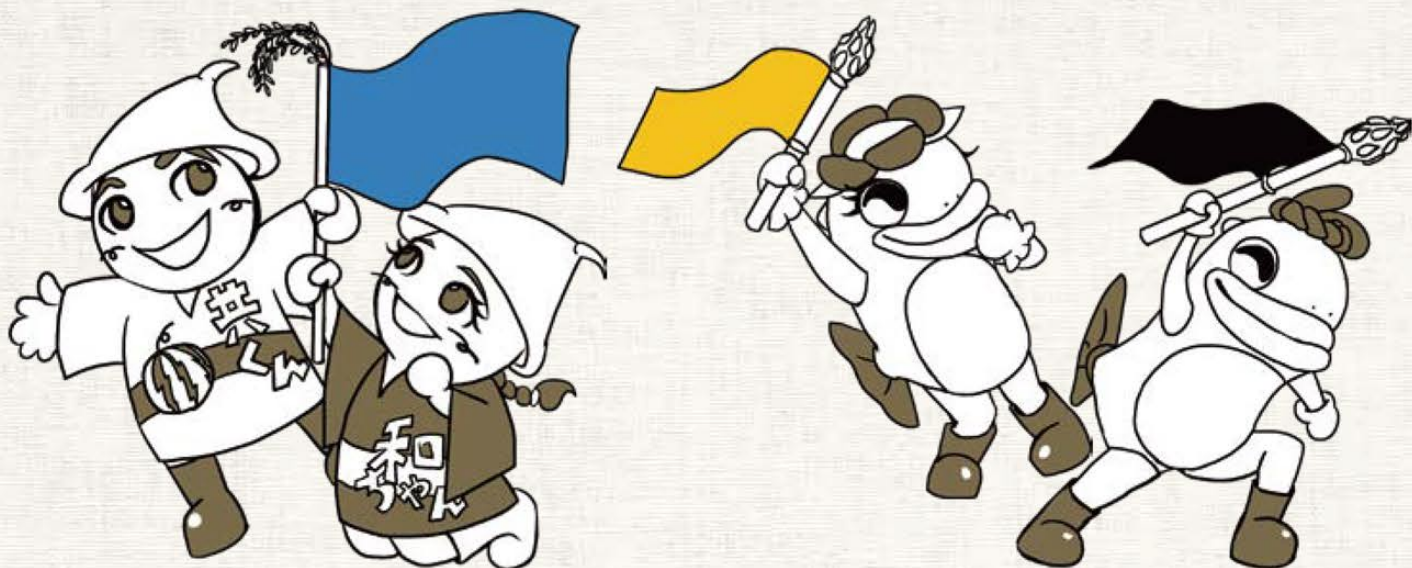




しりべしミュージアムロード共同展

五館五色! 色とりどり

2020年7月18日(土)~9月27日(日)



人生いろいろ、作品もいろいろ— 作家の人生もいろいろならば、その作品もまたいろいろ。

色とりどりの絵の具で描かれた作品を見ると、心のなかに色とりどりの想いが浮かんできます。そして、美術館もいろいろ。

色とりどりの人生をあゆんだ作家の描く、色とりどりの作品を味わうことができる「しりべしミュージアムロード共同展」—

今回の共同展では、「五色」で織りなされた「色とりどり」の作品をお楽しみください。

●各館タイトル

荒井記念美術館 「ピカソイエロー!」

有島記念館 「緑、みどり、ミドリ」

小川原脩記念美術館 「温もり・情熱 赤のすがた」

木田金次郎美術館 「ひきたてる黒」

西村計雄記念美術館 「青のグラデーション—空・海・町—」

しりべしミュージアムロードとは?

北海道後志管内の4町に点在する5つの美術館・文学館を結ぶ「しりべしミュージアムロード」。地域ゆかりの芸術家をテーマとした個性あふれる施設を、山から田園、海へといった変化に富んだ景観とともに楽しむことができるドライブコースとして親しまれています。

加盟館

一般財団法人荒井記念美術館、有島記念館、小川原脩記念美術館、木田金次郎美術館、西村計雄記念美術館

主催／一般財団法人荒井記念美術館、有島記念館、小川原脩記念美術館、木田金次郎美術館、西村計雄記念美術館

後援／公益財団法人道銀文化財団、しりべしミュージアムロード推進協議会、後志学芸員連絡協議会

しりべしミュージアムロードとは？

北海道後志管内の4町に点在する5つの美術館・文学館を結ぶ「しりべしミュージアムロード」。地域ゆかりの芸術家をテーマとした個性あふれる施設を、山から田園、海へといった変化に富んだ景観とともに楽しむことができるドライブコースとして親しまれています。

加盟館

一般財団法人荒井記念美術館、有島記念館、小川原脩記念美術館、木田金次郎美術館、西村計雄記念美術館

会期中の特典

有島記念館、荒井記念美術館、木田金次郎美術館、小川原脩記念美術館、西村計雄記念美術館 共通

●入館料相互割引

期間中、受付で5館いずれかの入場半券をご提示いただくと、団体割引料金にてご入館いただけます。

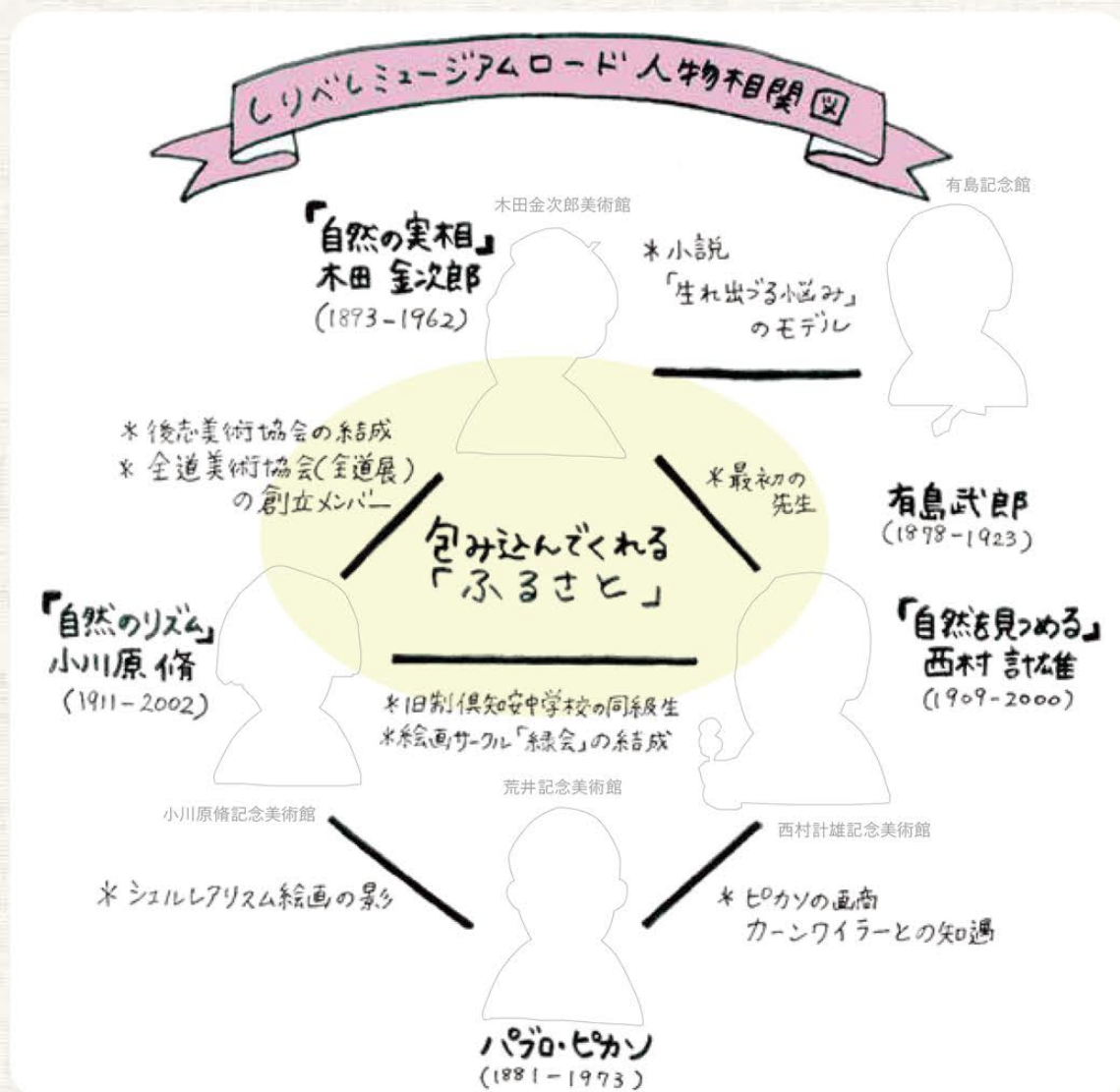
●スタンプラリー

共同展開催5館を巡り、オリジナルグッズをあてよう！

5館制覇でもれなく「完走記念品」をその場でプレゼント！さらに抽選で「MRオリジナルグッズ(5名様)」

または「5館グッズセット(5名様)」を差し上げます。

●スタンプ台紙《人物相関図を完成させよう》



●しりべしミュージアムロードコンサート「フルート四重奏による魅惑のサウンド“調和と色彩”」

※コンサート開催中止のお知らせ

8月29日(土)・30日(日)に予定していました「しりべしミュージアムロードコンサート2020」は新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止のため、今年度の開催を中止することといたしました。楽しみにしてくださった皆様には誠に申し訳ございません。来年度には、またたくさんの皆さまに素晴らしい音楽をお楽しみいただけるよう準備してまいります。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

【主催】しりべしミュージアムロードコンサート実行委員会(共同展実施館・公益財団法人 道銀文化財団)

【問合せ】実行委員会事務局(公益財団法人 道銀文化財団 事務局) TEL 011-233-1029



パブロ・ピカソ《B11065 女の顔》1962年 リノカット

ピカソは多色の画家と思われがちですが、作品を眺めてみると、一つの作品で使われている色はそれほど多くないことに気づかれます。特に版画作品で顕著に表れています。ピカソは可能な限り色彩を節約し、配色を工夫することで作品を組み立てました。本展示では、その中でも黄色が配色された作品を中心にご紹介いたします。

【同時開催】

ピカソ常設展Ⅱ期「ピカソの歩み」 9月6日(日)まで

ピカソ常設展Ⅲ期「ピカソの描くフォルム」 9月9日(水)～11月15日(日)

西村計雄常設展Ⅰ期「日本の心、フランスのエスプリ」 8月16日(日)まで

西村計雄常設展Ⅱ期「西村計雄の山と風」 8月19日(水)～11月15日(日)

所在地 〒045-0024 北海道岩内郡岩内町野東505

TEL 0135-63-1111

URL <http://www.iwanai-h.com/art/>

開館時間 9:00～17:00(入館16:30まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

※臨時休館:8月11日(火)、8月18日(火)、9月8日(火)、9月23日(水)

入館料 一般1,000(900)円／大・高校生700(600)円／小中学生400(300)円

※()内は10名以上の団体料金 その他各種割引あり

交通案内 〈バス〉中央バス岩内ターミナル下車、タクシー15分

有島記念館

「緑、みどり、ミドリ」

北海道の大地を新緑の「緑」がおおいつくすこの季節。しかし、よくみるとその「緑」には多彩で豊かな表情があることに気づかれます。本展では、イラストレーター・藤倉英幸が描いた北海道の風景画の「緑」にスポットをあてます。

【この展示は「夏の藤倉英幸展」との連携企画として11月下旬まで観覧することができます】

【同時開催】「かこさとしの絵本展」 10月4日(日)まで

「夏の藤倉英幸展」 11月下旬まで

所在地 〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57番地

TEL 0136-44-3245

開館時間 9:00～17:00(入館16:30まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

入館料 一般500(400)円／高校生100円

中学生以下とニセコ町在住の65歳以上は無料。

※()内は10名以上の団体料金

交通案内 〈JR〉函館本線ニセコ駅下車徒歩30分またはタクシー5分



藤倉英幸《初夏の稲田》2019年



共和町
とも 共くしと和ちゃん



岩内町
べに子とたられ



ニセコ町
アニッキー&ニッキー



倶知安町
じゃが子&じゃが太

旅先のあふれる色彩の中でも、特に鮮やかに描かれた赤。一方、穏やかで淡々とした日々を彩る花や果実を静かに捉えた作品にも、赤は印象的に登場します。画家のほとぼしる情熱と、描きつづける日常の温もり。〈温もり〉と〈情熱〉をキーワードに、ミュージアムロードの画家たちが表現した〈赤のすがた〉をご覧ください。

【同時開催】 小川原脩展「遙かなる道程～70年の歩み」 8月16日(日)まで
小川原脩展「アジアへのまなざし」 8月22日(土)～11月15日(日)

所在地 〒044-0006 北海道虻田郡倶知安町北6条東7丁目1
TEL 0136-21-4141
URL <http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/culture-sports/ogawara-museum/>
開館時間 9:00～17:00(入館16:30まで)
休館日 火曜日 ※臨時休館:7月13日(月)～17日(金)
入館料 一般500円(400円)／高校生300円(200円)／小・中学生100円(50円)
※()は10名以上の団体料金
交通案内 <JR>函館本線倶知安駅下車徒歩30分またはタクシー10分



小川原脩《難僧》1983年



木田金次郎《アネモネ》1962年

黒は「かげ」や「暗い」など、マイナスのイメージをもたれることも多い色ですが、絵画の中の黒は、さまざまに対象をひきたててくれる色でもあります。後志の画家たちは、黒をどのように用いて描いているでしょうか。本展では、木田金次郎・西村計雄・小川原脩の作品から、黒に注目して紹介します。

【同時開催】 岩内町町制施行120周年記念
特別展示「アイヌ語地名と木田金次郎」 11月3日(火・祝)まで

所在地 〒045-0003 北海道岩内郡岩内町万代51-3
TEL 0135-63-2221
URL <http://www.kidakinjiro.com/>
開館時間 10:00～18:00(入館17:30まで)
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
入館料 一般600(500)円／高校生以下無料
※()内は10名以上の団体料金・リピーター割引・JAF割引
交通案内 <バス>中央バス岩内ターミナル下車、徒歩1分

空、海、山、建物の影。「青」は作品のいたるところに登場する色です。また、同じ青色の絵の具を使っても、描き手のタッチや絵の具の量、溶き油の使い方によってその表情はさまざまに変化します。本展では、後志の画家たちがそれぞれの「青」を用いて描いた風景画を中心にご紹介します。

【同時開催】 夏から秋の展覧会「小品の魅力、再発見!」
7月18日(土)～9月27日(日)

所在地 〒048-2202 北海道岩内郡共和町南幌似143-2
TEL 0135-71-2525
URL <http://www.musee-nishimura.jp/>
開館時間 9:00～17:00(入館16:30まで)
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
入館料 一般500(400)円／高校生200(150)円／小中学生100(80)円
※()内は10名以上の団体料金
交通案内 <JR>函館本線小沢駅下車バスまたはタクシー10分



西村計雄《ギリシア》1964年